



令和 2 年 1 月 1 日 現在

|     |         |
|-----|---------|
| 世帯数 | 982 戸   |
| 人口  | 2,363 人 |
| 男   | 1,187 人 |
| 女   | 1,176 人 |

# 年頭のごあいさつ

内田地区町会連合会長

丸山 幸英



新しい年を、ご家族おそろいで迎えられたことと思います。この誌面が皆様のお手元に届く時は、既に新しい年の活動が展開されている事とします。

あらためまして、新年おめでとうございます。

平成から令和へと歴史が動いた年の町会役員交代でした。間もなく1年が経過しようとしております。この間、内田地区の皆様には町会の活動に際しご協力を頂きまして、心から感謝を申し上げます。計画された行事の中で降雨により中止になったものも

ありましたが、概ね先輩方が築き上げてきた内容を踏襲できたとお思います。また、道路清掃、河川清掃、内田グランド周辺清掃等、地域の環境整備に積極的に参加を頂き、行政の担当からも高い評価を得ております。感謝を申し上げます。

行政に対しては、地域の皆様から頂いたご指摘、日頃の点検活動等で発生した道路環境整備等の比較的軽微な事案は、センター長を通じて、都度市担当者に要請し速やかに対策を講じてまいりました。また、前任町会長さんからの引き継ぎの、県レベルの大型の事案(第1町会舟沢川改修、六道交差点改良等)は設計案は示されておりますが着工待ちでありますし、地元のコン

センサスを深める必要のある案件等々も残っております。今後主要3河川(牛伏、舟沢、塩沢)の河床整備と併せ機会あるごとに当局への要請を行ってまいります。

さて、昨年10月に発生した

台風19号による北信地方の水害は未だ記憶に生々しいものがございます。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますが、長野県内でこの様な大災害が発生するとは、私は予想だにしませんでした。地球温暖化による大雨、或いは地震等の災害は避けられないものは確かにあります。いざという時の備えはしておかなくてはなりません。松本市は令和2年度から平常時の見守りや災害時の避難支援等に役立てるため「避難行動要支援者名簿」の配布準備に取り組んでおります。

内田地区は、良い意味での村社会が形成されております。普段の世話焼き見守り活動を通じて内田らしい地域づくりに、皆様と力を合わせて取り組んでゆきたいと思っております。

令和2年が穏やかな年であることを念じてごあいさついたします。

## 民生児童委員の皆さんが かわりました

昨年11月に内田地区の民生委員・児童委員の任期が満了となり、新たに4名(民生児童委員)が再任され、1名(主任児童委員)が新任となりました。

今後3年間皆様のご協力を得ながら民生児童委員活動に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

内田地区民生・児童委員協議会長 百瀬 博久

主任児童委員としてお世話になる事となりました第6町会の丸山千賀子と申します。

よろしくお願いいたします。



中島智壽子

2期6年、主任児童委員を務めました中島智壽子です。昨年11月末日をもって退任となりました。

任期中は子どもやお母さん方からパワーをもらい、地区の方々からは暖かく受け入れてもらいました。今後地域の中でできることをさせていただければと思っています。ありがとうございました。

### 民生児童委員の皆さん



|                        |                          |                           |                       |                   |
|------------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------|
| 丸山 洋子<br>計 2・5町会<br>担当 | 中山 範子<br>副会長 3・7町会<br>担当 | 百瀬 博久<br>会長 1・4・6町会<br>担当 | 田中 さつき<br>8・9町会<br>担当 | 丸山 千賀子<br>主任 児童委員 |
|------------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------------|

# 栗と北斎と花の まち小布施

行って来ました！晩秋の小布施の街へ。

文化芸術視察研修と言おうお堅いふれこみにも関わらず、大変人気の企画だったよう、募集を始めたその日のうちに満了になったそうです。キャンセル待ちが出るほどで、館長さん曰く、嵐のコンサート並みだったとか。そんなラッキーな33名、秋晴れの良い天気の中、道中も順調に到着することができました。

小布施と言えばレトロな街並みと葛飾北斎。まずはメイソンの北斎館へ、それから高井鴻山記念館を鑑賞しました。

葛飾北斎は日本国内はもとより、遠くヨーロッパの画家



をはじめ、多くの芸術家達に多大な影響を与えたことでもよく知られています。その偉大な方が小布施の豪農商である高井鴻山さんの招きで、江戸からこの信州にやって来られたのです。電車も車もない時代、人生50年くらいが普通だった時代に、何と80歳を超えた体で、こんな遠くまで来られたことに驚きを隠せません。また、ただ逗留していた訳ではなく、数々の創作活動をしており、そのパワーはどれ程だったのでしょうか。

北斎館にある、地元の祭屋台二基の天井絵は、その鮮やかな色彩は神々しく、筆の力強さ、鳳凰の目力の凄味など、圧倒されてポカンと口を開けて見上げてしまいました。本当に信州の宝です。

行き帰りの道中には、先日の台風19号の被害の爪痕が見られました。北斎館の前には、地元の中学生でしょうか、募金活動をしていました。身近に起きた大災害に本当に心が痛みます。一日も早い復興を願うばかりです。

小布施の街の散策や途中の道の駅など、お腹もいっぱい、お土産もいっぱい、楽しく無事に帰ってきました。

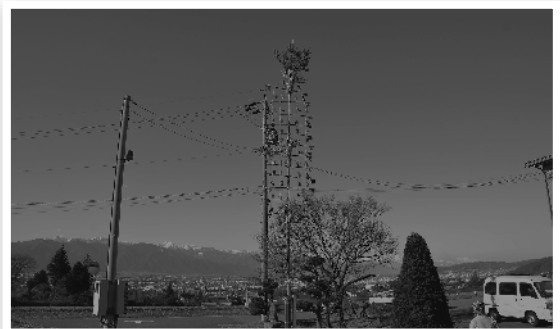
第2町会 百瀬 啓子

## 小正月行事

# 荒井の御柱

以前は専業農家の行事として「五穀豊穣」と「家内安全」の願いを込めて、御柱の当家に集まり、「おんべ」と「やなぎ」を作り、御柱を飾り柱を建てていました。

現在では、荒井常会の行事とし当家を持ち廻りとして、「おんべ」と「やなぎ」作りは常会全戸の協力で公民館に集まり、当家で準備した竹を割り紙を切り、「おんべ」「やなぎ」を半日程かけて準備します。「おんべ」づくりは荒井常会の親睦を深める場となっています。



荒井常会 おんべ

## 肉田地区の

# 三九郎



内田地区では1月11日に三九郎が行われました。

町会単位、常会単位(道祖神単位)様々ですが、15か所で三九郎がつくられました。

「無病息災」「五穀豊穣」を願い、300年の時を超えて伝えられている行事です。今後も長きにわたり受け継いでいってほしいものです。



第5町会寺村清水常会 三九郎

新年を迎え、三九郎を建てる日程に合わせ御柱を建て、二十日正月まで道祖神横に建てられています。

第6町会 丸山 茂実

つれづれ編集記  
新年明けましておめでとうございます。

令和2年、2年目の新元号、良い年になりますように。

昨年を振り返れば災害の多い一年だったと思います。台風に河川の氾濫等。特に長野県千曲川の災害については記憶に残っています。今も家に入らず仮設の住居に暮らしている人のことを考えるとやるせない気持ちになります。

今、自分達の住んでいる地区も川が氾濫し、災害が起こるかもしれません。小さな川でも例外ではありません。

また、最近の雨はかなりまとまった量の雨が降る傾向にあります。農産物等の作物も天候の不順など作業の大変さも感じるところであります。

今年はおリンピック・パラリンピックなど一大イベントが開催されます。少しでも景気が良くなることを祈っています。また閉会後の反動も気になると思います。

第5町会

丸山 一雄

